

J E I B ジャパン

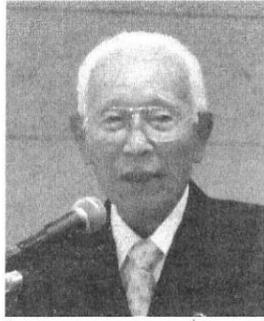
P & I 保険セミナー開催

最新マーケット情報を提供

J E I B ジャパンは11月8日、東京都千代田区の帝国ホテルでP & I 保険セミナーを開催した。船主への最新マーケット情報や経営効率化策の提供を目的に実施するもので、今回は同社が7月に提携したP & I 保険(船主責任保険)で世界トップバンクのブローカーであるカンビアン・リッソを紹介するとともに、カンビアン・リッソのP & I 保険部門のアジア地域責任者を務めるウエイン・ゴドフレイ氏が、同社グループやP & I 保険市場の動向などについて解説した。当日は海運企業などから多数が参加した。

トップブローカーのカンビアン・リッソ紹介

セミナー冒頭、J E I B ジャパンの親会社でロイスブローカーのジャパ・イングリッド・インシュランス・ブローカーズの佐野圭作会長があいさつした。佐野氏は、同社との提携で日本市場への進出を果たしたカンビアン・リッソ社を紹介した。その後、今回のセミナーのプログラムでは保険ビジネスにとって重要なクレーム対応にポイントをおいたと説明した。



佐野会長



ゴドフレイ氏



小田社長



P & I クラブのクレーム担当者による討論

明。1946年にイタリア・シエナで創業したマリンドルに特化したブローカーで、世界170隻の船舶を扱っている。イタリア、ギリシャを中心に英国、ノルウェー、ドイツ、トルコなどで事業展開している他、近年は中国、シンガポール、韓国などアジア市場でも事業の拡大を図っている。

また、「われわれ保険ブローカーの仕事は顧客の皆さまに尽くすこと」と話した上で、昨今、旧ビッグモーター社による

金庫不正請求事案や大手損保による保険料調整を指摘していること。最後に、渋沢栄一の名を引用した上で、「私も心をより広く、新たに、皆さまと共に働かせていただけたらありがたい。本日のセミナーの講演やパネルディスカッションをぜひお聞きいただければと思う」と述べた。

ゴドフレイ氏は、自身と彼の父親がともに、カンビアン・リッソ社と並ぶP & I 保険分野のトップブローカーで、J E I B ジャパンとはすでに提携しているアサー・J・ギャラガー社で働いており、二人とも同社からカンビアン・リッソ社に移籍してきたことを明かした上で、「現在、カンビアン・リッソのP & I 保険の実績は大幅に伸びており、私たちは当社を世界最大のP & I 保険クラブとP & I 保険専門クラブ、フリタニア、スウェーデン、UKクラブはわずかながら引受赤字を計上」「全てのクラブが堅調な投資収益を計上」などのポイントを紹介した。

また今後の論点として、①「A」評価のほど減を図り、リスク保有を増やす傾向にある②D A L I の事故は、オーバーシーズルの状況に対する当初の懸念を背景に、国際グループ再保険の構造についてさらなる議論を引き起こし得る③といったトピックを挙げた。最後に、今後のP & I 保険ビジネスのポイントとして、早期契約更改や戦略的レビューについて紹介した。

セミナーの最後にはあいさつしたJ E I B ジャパンの小田社長は、参加者や登壇者に感謝を述べた後、「遡ると2016年の同じ11月、同じ会場で、当時アサー・J・ギャラガー社にいたゴドフレイ氏とP & I 保険セミナーを開催し、われわれは日本でのビジネスの旗揚げをした。それ以降、おかげさまで多くの船主さまにご支持いただき、現在に至っており、当社としては引き続き皆さまのお役に立てるようP & I 保険に取り組みたい」と締めくくった。

損保ジャパン

南陽市と包括連携協定

福祉・健康・教育などで協力

損保ジャパンは11月8日、山形県南陽市と包括連携協定を締結した。南陽市役所で行われた協定締結式には、南陽市の白岩孝夫市長、同みらい戦略課の穀野純子課長、小野勝司課長補佐、損保ジャパン山形支店の近藤和幸支店長、井田勝康米沢支社長が出席した。協定は、両者が相互連携と協働による活動を推進し、市民福祉の向上と地域の活性化を図ることを目的としており、①福祉・健康に

包括連携協定締結式



左から、損保ジャパンの近藤山形支店長、南陽市の白岩市長

市民福祉の向上および地域の活性化に関する事項②SDGsに関する事項③その他に関する事項④その他に関する事項⑤その他に関する事項⑥その他に関する事項⑦その他に関する事項⑧その他に関する事項⑨その他に関する事項⑩その他に関する事項⑪その他に関する事項⑫その他に関する事項⑬その他に関する事項⑭その他に関する事項⑮その他に関する事項⑯その他に関する事項⑰その他に関する事項⑱その他に関する事項⑲その他に関する事項⑳その他に関する事項㉑その他に関する事項㉒その他に関する事項㉓その他に関する事項㉔その他に関する事項㉕その他に関する事項㉖その他に関する事項㉗その他に関する事項㉘その他に関する事項㉙その他に関する事項㉚その他に関する事項㉛その他に関する事項㉜その他に関する事項㉝その他に関する事項㉞その他に関する事項㉟その他に関する事項㊱その他に関する事項㊲その他に関する事項㊳その他に関する事項㊴その他に関する事項㊵その他に関する事項㊶その他に関する事項㊷その他に関する事項㊸その他に関する事項㊹その他に関する事項㊺その他に関する事項

長は「損保ジャパンは、これまで市が主催する事業(防災訓練、S O M P O ボールゲームフェスタ in 南陽)に協力をいただいていたが、このたびの協定締結により、双方がより緊密な連携・協力を図ること、これまでの取り組みを含めたさまざまな分野で、互いの資源やノウハウを活用しながら一層の取り組みを進め、市民福祉の向上および地域の活性化を図ることで、地域性の取り組みに立ちたい。南陽市には同じS O M P O グループのエヌ・デアソフトウエア社がある。エヌ・デアソフトウエア社とも連携を取りながら、南陽市の皆さまと一緒に地域課題の解決および持続可能な街づくりに取り組んでいく」と述べた。

セミナー終了後には会場を移して懇親会が行われ、参加者や登壇者は歓談した。

ソルベンシー規制の国際動向
— 保険会社の資本規制を中心に [改訂版]
中村 亮一 ニッセイ基礎研究所 著
(2023年12月刊)
ISBN978-4-89293-470-4
●A5判・454頁 ●定価4,950円(税込) / 送料495円(税込)
お申込みはFAXまたはWEBで
FAX 03-5816-2863
https://www.homai.co.jp/
保険毎日新聞社
東京都台東区台東 4-14-8
シモジマパークビル 2F
TEL 03-5816-2861